

菅野潤 & ザルツブルガー・ゾリステン

第3回 しおのまち音楽祭

SHIO NO MACHI

東西の「塩の街」を結んで

春を告げるコンサート



●出演

菅野潤 (ピアノ)

ザルツブルガー・ゾリステン

ルツ・レスコヴィッツ (ヴァイオリン)

ウヴェ・ヒルト＝シュミット (チェロ)

若手招待演奏家

蔡 翰平 (ピアノ)

飯川直美 (ヴァイオリン)



●プログラム

- モーツァルト「ヴァイオリンソナタ 変ホ長調 KV302」
- ベートーヴェン「『魔笛』の主題による7つの変奏曲 変ホ長調 WoO.46」
- モーツァルト「ピアノ三重奏曲 変ロ長調 KV502」
- モーツァルト「アンダンティーノ 変ロ長調 KVanh.46 (374g)」
- ベートーヴェン「ヴァイオリンソナタ イ長調 作品47 「クロイツェル」」
- シューマン「ピアノ四重奏曲 変ホ長調 作品47」

とき

平成31年

3月9日(土)

開場15:00 開演16:00~

※地酒やお寿司もお楽しみいただけます(有料)

- 主催/塩竈市遊ホール協会
- 後援/宮城ケーブルテレビ(株) BAY WAVE78.1
- 協力/塩釜市商業協同組合
- 助成/オーストリア大使館 オーストリア文化フォーラム

≡オーストリア文化フォーラム

ところ

塩竈市遊ホール(壱番館 5F)

塩竈市本町1番1号 TEL 022-365-5000

入場料 (全席指定) 前売 一般 2,000円 高校生以下 1,000円
当日 一般 2,500円 高校生以下 1,500円

お問合わせ: 塩竈市遊ホール協会 TEL 022-365-5000

◎平成31年3月7日・8日 学校や地域を訪問し、アウトリーチコンサートを開催します。

【プレイガイド】

松尾カメラ、メロディーズ、美容室マサヒコ、喫茶ノノノ、しおがま・まちの駅、ヤマザキショップ塩釜すすきや店、多賀城市文化センター、金犬くん利府店、株式会社仙台三越、カワイミュージックショップ仙台、遊ホール協会、ローソンチケット(Lコード21339)、チケットぴあ(Pコード141-297)

※会場へは公共交通機関をご利用ください。

※未就学児をお連れの方は、親子室をご利用ください。

※託児をご希望の場合は、公演の1週間前までに、しおがま子育て支援センター「こころん」までお申し込みください。

TEL363-3630(1歳以上、お一人につき500円(定員10名))

塩の縁 えにし

まちの名に「塩＝ザルツ」を持ち、塩とかかわりながら長い歴史を紡ぎ、発展してきたそれぞれ東西二つのまち。

それが塩竈とザルツブルク(オーストリア)です。

震災後の2011年秋、しおがま文化大使・菅野潤さんと共演するザルツブルクの音楽家が、いち早く本市を訪問し、復興支援コンサートを開催しました。

東西、そして海と山。それぞれの「塩の街」が悠久の時を超えて出会い、縁(えにし)で結ばれています。

◆出演者プロフィール



かんの じゅん 菅野 潤(ピアノ)

パリを拠点とし、国際的に活躍するピアニスト。世界の音楽界で信頼を集め、著名な演奏家との共演も多数。国際コンクールの審査員やマスタークラスの講師としても世界各地に招かれている。

松江市に生まれ、3歳で塩竈市に移り住む。第13回全東北ピアノコンクールにて第一位、文部大臣奨励賞受賞後、桐朋学園に進み、同大学音楽学部ピアノ科卒業。来日したオリヴィエ・メシアン夫妻との

出会いを機に、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に留学し、ピアノ科、室内楽科でそれぞれ一等賞を得て卒業。その後、パリ・エコール・ノルマル音楽院に在籍し、審査員全員一致で演奏家資格を得る。

数々の国際コンクールに上位入賞後、活発な演奏活動を始め、これまでに、パリ・シャンゼリゼ劇場など世界各地の主要ホールでのリサイタルのほか、NHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、ミュンヘン交響楽団、ベルリン室内合奏団などと共演。室内楽の分野では、ウィーン弦楽四重奏団、ベルリン弦楽四重奏団、ザルツブルク・モーツァルテウム四重奏団、またウェルナー・ヒンク、ピエール・アモワイヤル、フランク・シュタートラーの各氏らと、欧米各国および日本で数多く共演し、安定した評価を得ている。これまでに、バッハからメシアンまでのレパートリーを収めたCDがリリースされている。近年ALM RECORDS よりリリースされた「メシアン：幼子イエズスに注ぐ20のまなざし」、および「ドビュッシー前奏曲集 第1巻&第2巻」は、読売新聞紙上で紹介され、また「レコード芸術」誌特選盤に選ばれるなど、幅広い支持を集めた。2014年に演奏生活30周年を迎えた。2015年11月には新譜「菅野潤playsモーツァルト」をリリース。帰国時には国内での活動にも精力的に力を注ぎ、また「しおがま文化大使」としても地元の音楽文化振興に貢献している。

若手招待演奏家



さい かんべい 蔡 翰平(ピアノ)

宮城県仙台市生まれ。宮城県宮城第一高等学校を卒業後に渡欧し、2013年にベルギーのブリュッセル王立音楽院に留学。同音楽院のピアノ科学士課程を経て2018年にピアノ科修士課程を最優秀の成績で修了する。ヨーロッパ、また仙台や東京を中心としたジョイントリサイタルやソロリサイタルの開催など数多くの演奏会に出演。第56回、第57回全東北ピアノコンクールでそれぞれ東北放送奨励賞受賞、第16回チッタ・ディ・ロッケッタ国際ピアノコンクール第2位、第11回セシリア国際音楽コンクール第3位、第5回イスキア国際ピアノコンクール第2位など、国内外のコンクールで多数受賞。これまでにピアノを徳本美智子、庄司美知子、菅野潤、菊地洋子、ヨハン・シュミットの各氏に師事。



いいかわ なおみ 飯川直美(ヴァイオリン)

1991年仙台市生まれ。桐朋女子高等学校音楽科を卒業後に渡仏。パリ国立高等音楽院学士課程、修士課程を経て、第三課程アーティスト・ディプロマ科を修了。在学中に、フランス国家演奏家資格、及びパリ管弦楽団、フランス国立放送フィルハーモニー管弦楽団アカデミーのディプロムを取得。第60回全日本学生音楽コンクール全国大会中学生の部入選。2015年ヴラディグロフ国際コンクール入賞。ソフィア・ゾリステン、仙台フィルハーモニー管弦楽団ほかと共演。これまでにヴァイオリンを吉井雅子、勅使河原真実、石井志都子、スヴェトリン・ルセフ、フローリン・シゲティ、室内楽をイタマル・ゴラン、上田晴子、ヴラジミール・メンデルスゾーンほかの各氏に師事。またマスタークラスにおいてジャン・ジャック・カントロフ、ロラン・ドガレイユほかの各氏に師事。

ザルツブルガー・ゾリステン

1979年にルツ・レスコヴィッツが、ソリストとして活動する実力を持つ演奏家達を集めて結成。以来演奏活動は世界各国に渡る一方、本拠地ザルツブルクでは、ルツ・レスコヴィッツが音楽監督を兼任する「ザルツブルガー・シュロス・コンツェルト」の専属アンサンブルとなっている。

パウル・パドゥラ=スコダ、イェルク・デームス、ユーディ・メニューイン、イゴール・オイストラフ、ムスティスラフ・ロストロポーヴヴィッチ、カール・ライスター、エリー・アメリンクら数多くの著名アーティストと共演し、ソニーやEMI-CLASSICSなどのメジャーレーベルからもCDをリリースしている。

塩竈市では、2010年以来当ホールで菅野 潤氏と共演をしており、2011年秋には東日本大震災で被災した塩竈市民を励ましたいと来塩し、チャリティーコンサートを行った。



ルツ・レスコヴィッツ (ヴァイオリン) LUZ LESKOWITZ

13歳でウィーン国立音楽大学に入学、同時にザルツブルクのモーツァルテウム音楽院で学ぶ。卒業後メニューインの招きで、ロンドンのメニューイン音楽院にて教鞭をとり、20歳でロンドンのクイーン・エリザベス・ホール、ニューヨークのカーネギーホール等にてデビュー・コンサートを行う。その後、オーストリアとドイツに7つの音楽祭を立ち上げ、1979年には自らが主宰する室内楽団、ザルツブルガー・ゾリステンを設立、世界中で公演を行っている。さらに1991年からは、ザルツブルクのミラベル宮殿で開催している「ザルツブルガー・シュロス・コンツェルト」のオーナー兼音楽監督として精力的に活動している。

使用楽器はストラディヴァリウス(1707年製)。



ウヴェ・ヒルト =シュミット (チェロ) UWE HIRTH-SCHMIDT

ドイツ・ラール生まれ。5歳よりチェロを始め、数多くのソロおよびアンサンブルの賞を受賞する。ベルリン芸術大学においてウォルフガング・ポエッチャーに師事。これまでにヴァルガ、グリンガス、デメンガ、ツィメルマンなど数多くのアーティストと共演。近年ではベルリンフィルにて、サンサーンス、ショスタコーヴィッチ、ドヴォルザーク等のコンチェルトを演奏。また若き日には、ジャック・ティボー弦楽三重奏団として来日している。

使用楽器はジュゼッペ・ダラグリオ。



塩竈市遊ホール / 〒985-0052 塩竈市本町1番1号 壱番館5階
TEL022-365-5000 FAX022-365-4100
yuu-hall@city.shiogama.miyagi.jp

